

令和4年12月5日発行 第9号

# 渋谷の荘だより

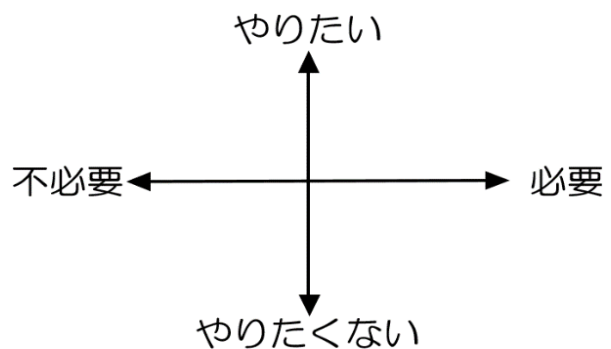
「今を生き 未来を担え 渋谷中生」 やまとしりつしづやちゆうがっこう 大和市立渋谷中学校



いよいよ師走。最後の月となりました。学校では三者面談が始まり、今年の振り返りを行い、生徒は各々来年度に向けて準備を始めているところです。残りの学校生活を有意義なものにし、未来に向けて力を蓄えて欲しいと思っております。周囲の温かなサポートを今後もよろしく願っています。

11月朝会にて  
「自分がどんな人間になりたいのか考える」校長 清水 恭

皆さんおはようございます。  
先日の文化発表会はステージでの発表、作品の展示、どれもとても素晴らしくこの学校で仕事ができる本当に良かったと思えました。  
学校代表になった3年1組のみなさんは今週末の総合文化祭でいい歌を披露してきてください。  
さて、来週は期末テストです。いやだなと思っている人が少なくないかもしれません。ですが、人間は本来、わからなかったことがわかるようになることや出来なかったことが出来るようになることに喜びを感じるようにできています。誰かと比べて落ち込んだりせず、わからなかった自分、出来なかった自分と比べて喜びを感じながら学習に取り組んでほしいと思います。  
行動を決定するとき、こんな風に考えてみてはいかがでしょうか。



横軸に必要なこと・不必要なこと、縦軸にやりたいこと・やりたくないことをおいて整理してみます。必要でやりたいことはとことんやればいい。不必要でやりたくないことはやらなくていい。考えるべきは、必要だけどやりたくないことと不必要だけどやりたいことのどちらを優先させるのかということです。自分がどんな人間になりたいのかを考え、どちらを優先させるか決めていってください。

とはいえ、やっぱりストレスを抱えたり、劣等感を感じたりする瞬間はあると思います。どうしようもなくもやもやしてしまっ、人や物にあたってしまいそうになったら校長室をたずねてください。キックミットがありますのでストレス発散のお手伝いをします。お待ちしております。

# 「できないことを数えるよりも、できることを数えよう」



1学年主任 草野はるか

11月1日（火）の5、6校時、1学年は車いすバスケットボール講座を行いました。明るく、前向きな車いすスポーツの選手の方々と関わり、いろいろな話を聞くことにより、私たちは車いすスポーツについて楽しく学ぶことができました。教員も含め、ほぼ全員が実際に競技用の車いすに試乗し、また一部の生徒は車いすバスケットボールにもチャレンジしました。実際に体験をし、車いすを使って行動することの大変さ、難しさを感じることができました。

「目が悪い人がめがねをかけるように、足が悪いから車いすを使う。だから別に車いすの人はかわいそうというわけではないんだよ。」選手の1人が私たちに話をしてくれました。車いすはかわいそうというどちらかというマイナスイメージが強かった人も、今回の講座を通して別の見方、考え方があることを知ったと思います。



「できないことを数えるよりも、できることを数えよう」

講座の最後に選手の方がお話ししてくれた言葉です。私たちはどうしても、他人と比べ、自分のできないことばかりを気にしてしまうことがあります。そうではなく、人それぞれできることは必ずある。それを数えていったほうが良いということをお話ししてくれました。

私は生徒たちがこの言葉を忘れず日々の生活を送り、さまざまなことにチャレンジをし、自身の可能性を広げてほしいと強く感じました。

貴重な経験やお話を聞くことができ、生徒の笑顔がたくさん見られたとても良い時間でした。

